

平成 29 年度 神道政治連盟愛知県本部総会 開催

神道政治連盟愛知県本部では、9月14日、熱田神宮会館にて年次総会を開催し、県内神社関係者並びに議員など総勢331名が参加した。

開会に先立ち神宮遥拝、国歌斉唱、神政連宣言綱領唱和の後、神道政治連盟愛知県本部服部憲明会長が挨拶され、神道政治連盟は皇室の護持を第一と考え、その上で憲法改正に向け邁進したいため、今後とも倍旧の支援を賜りたいと述べられた。

この後、神道政治連盟中央本部会長の挨拶では打田文博会長が、皇室の伝統の基本は男系男子による系統の継続であることを述べ、皇室制度の改定について触れられるとともに、憲法改正に向け助力をお願いしたい旨を述べられた。



なお、来賓として、打田会長、牧野愛知県神社庁長を始め、参議院議員の有村治子先生、衆議院議員自民党愛知県連会長の藤川政人先生、並びに県内選出の国会議員・同秘書など数多くの方々が参会された。

引き続いての講演では、麗澤大学経済学部教授八木秀次先生が「皇室と日本人—皇位継承に当たって考えるべきこと—」との演題にて講演され、先般制定された「天皇の退位等に関する皇室典範特例法」の内容について説明されるとともに、これまでの皇位継承の流れについて丁寧に説明された。

その後、聖寿万歳三唱により本会は閉会となった。

